





三木学園理事長  
下村 康夫

## JUSTICE

うらかな春色が白陵の里にもきざしてまいりました。いよいよご清栄のこととお喜び申しあげます。はじめに会報誌面にてご挨拶の機会をおかれましては、平素より格別のご支援を賜わり心より厚く御礼申し上げます。

私は、令和六年六月に斎藤興哉前理事長の後任として三木学園第四代理理事長に就任した十期生の下村康夫でございます。どうぞ、よろしくお願ひ申しあげます。三木省吾園長先生に声をかけてもらって、昭和五十四年四月に白陵事務室に入職し、事務職員を経て、三木一正第二代理理事長、斎藤興哉第三代理理事長の下で岡山白陵と白陵で事務長を務めておりましたが、このような重責を担うことになるとは夢にも思わず、責任の重さに身の引き締まる思いがしております。

白陵会との関わりは、園長先生の呼びかけで、昭和五十五年に同窓会組織が再編され一期生の黒坂康夫先輩が会長に就任されて活動が再開されたときからですが、爾来、黒坂会長、黒川芳一会長（一期生）、沼田好道会長（三期生）、天野泰文会長（三期生）の歴代会長の下で、校内幹事兼事務局、理事役員として、「白陵会名簿」や会報「Alma Mater White Ridge」の発刊、役員会・理事会・総会の開催、寄付金募集などのお世話をさせていただきました。さて、学園の六十有余年の歴史の中には、幾多の困難がありました

が、平成に入って第二創業期ともいえる時期に白陵教育改革によって、「管理・知識・保守」から「自主・体験・革新」を校風とする新しい白陵に生まれ変わり、お陰様もこれまで新しいステージで高い評価を頂戴しております。しかしながら、これから先は不透明で予測困難な時代に突入し、少子化が加速度的に進み、学校法人を取り巻く環境は一段と厳しくなっております。皆様方の母校である「永遠に栄えある白陵」を次世代へ引き継いで行くために、「建学の精神である「英才の育成」を道標として、今までお世話になった方々のお気持ちを大切に思い、微力ではございますが母校の更なる発展のため全力を尽くす所存でございます。

ところで、昨年に発表されたノーベル賞は、物理学賞、化学賞ともAIの研究が受賞テーマとなりました。教育現場においても、AI導入のメリットが、デメリットが議論されておりますが、早晚、否応なく教育現場にも浸透してくるものと考えておこなうはなりません。学校教育の場においてはあくまで、「主」は人間の教師であり、AIは「従」でなければなりません。AIは、生徒一人ひとりの学習状況を把握することが得意で生徒一人ひとりの習熟度に合わせた個別のプログラムを提供することが出来ます。教員不足や高騰する人件費、働き方改革のことを考えると、AIが教育現場を席卷するのも案外速いかも知れないと思っております。

六月には白陵会発足六十周年記念総会が開催されますが、各方面で活躍されている皆様方におかれましては、なにとぞ、母校並びに後輩の在校生に引き続きよろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



校長  
宮崎 陽太郎

## 春に知られぬ花

同窓会の皆様には、日頃から本学園の教育活動に対してご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

令和も七年目になりました。そして学校は令和六年度の終盤を迎えています。現在の中学・高校の一年生は、それぞれ白陵中学・白陵高校の第六十二期生になります。創立から六十年を超え、卒業生数は一万を超えています。このことが白陵の大きな財産となっているのです。真剣に進路を考え始める年ごろの中学三年生や高校一年生には、それぞれ年に数回「キャリア講演会」を開いています。いろいろな卒業生をお呼びして、その仕事を選んだ動機、内容、やりがいなどを話してもらっています。さらに今年度からは、高一の「東京キャリア研修会」が学年行事になりました。それまでは希望者を募り、抽選などして学年の半数ほどが参加するものでした。しかし学年全体にして欲しいとの要望が多くなると、全員が参加できる学年行事にしたのです。七月末の猛暑の中、東京での二泊三日の研修会は、熱く盛り上がるものとなりました。夜のディスカッションでは十名ほどのグループに分かれ、それぞれに卒業生が付き、テーブルを囲みます。三十分毎のローテーション形式で、卒業生はいくつかのグループを回って生徒との対話をします。卒業生たちの熱の

こもったお話や問いかけに呼応するように、生徒たちもいろいろな質問を投げかけていました。

日本は今、冬ごもりのような時代にあることを高校生たちも何となく感じ、将来に不安を感じているようです。マスメディアが伝える情報の歪さがそれを助長しています。しかし今や、インターネットを通じて違った角度からの情報収集も可能になり、世の中の真の姿もあらわになってきました。そして今や、今年の干支である乙巳が意味するように、これまでになく世の中へと移り変わっていくことを予感させます。

紀貫之の歌に、「雪降れば、冬ごもりせる草も木も、春に知られぬ花ぞ咲きける」というのがあります。草木に雪が降り、春に見たこともない花が咲いたようだ、と詠っています。千百年ほど前の作品ですが、現代にも通じる普遍性があります。あの夜のディスカッションは、まさに今まで見たことのない花に見えました。

冬ごもりの草や木は、あるがままです。それが降雪により、見知らぬ花となる。このような見方がすっと心に入ってくるような文化に私たちは馴染んできました。生徒には主体性を持つてほしいと願っています。主体性を持つとは自分の頭で考えることです。このとき、鈴木大拙の次のような言葉が背中を押してくれるように思います。「西洋ではものが二つに分かれてからの世界に腰を据えて、そこからものを考えるのに対して、東洋の人々は、ものがまだ二分しないところから考え始める」と。人間性とテクノロジー、人間と自然、そういった二分しがちなものへの対処は、むしろ東洋的な考え方の先に花開くのではないのでしょうか。

## 姫路白陵会の進む道



世話人代表  
19期生  
尾上 尚樹

姫路白陵会は、姫路市や近郊にお住いの同窓生を中心に、卒業期を問わず年一回集まって歓談するだけの集まりです。名称や形を変えながらもかれこれ十五年以上続いてきておりましたが、昨年から私がまとめ役を任されましたので、できればこれまでと少し違った雰囲気になればいいかなと思いい模索しました。

前年に倣ってまず日程を確定したうえで、次に検討したのは会場選びでした。同窓会といえば、円卓での中華かホテルの宴会場でのビュッフェ形式が多いイメージですが、今回はお洒落な結婚式二次会向けのそんなに広くないレストランを選びました。たくさん参加いただいて窮屈なくらい詰めて座っていただけで、自ずと距離感が縮まったように思います。たまにはギュウギュウ感があるのもいいですね。

スタッフを新たに数人お願いしました。従来からお世話いただいている先輩を除いて、すべて私よりも若い方々を選びました。その方が、私も仕事を頼みやすいし、もちろん次の世代に渡していくときに、中心となってやっていただくほうがいいです。直接知らない後輩でも、スタッフのどなたかが紹介してくればすべて受け入れられます。四十〜五十人ほど集まる会のスタッフの数が現在では九名です。これからもどんどんスタッフを増やして、全員がスタッフになりていただければいいなと考えています。

盛り上げる企画としては、二十五期生の桂阿か枝さんをお願いして、小断をいくつか紹介いただきました。さすがプロの落語家です。会場全体が何度も大きな笑いに包まれました。またアトラクションの王道である抽選会は、参加者それぞれにご自分のお名前を書いたカードを五枚ずつお渡しして、知らない人と名刺交換をされたカードだけが、賞品が当たるよ



うにしました。お遊びのような名刺交換でしたが、そんなゲームを通していくらかでも交流が深まったのではないかと思います。

白陵高等学校の同窓会が白陵会であるとして、頭に地域名の付いた〇〇白陵会は、メジャーなところとして、東京、神戸、加古川、姫路とあるのは承知しています。それぞれ会の趣旨やイベントの内容、メンバー構成や会長や幹事の考え方も違っていいと思います。公式に理事会で承認されない名称を使えないとか、そんなことにはなっていないとすれば、たまたまニューヨークに同窓生が二人いて、年に一度集まっていれば、NY白陵会と勝手に名乗ってもどなたからも文句は出ないのではないのでしょうか。

高砂にある白陵に隣接する姫路であり、古い世代の方ほど姫路出身の同窓生が多いことを考えると、姫路白陵会が本家本元となるかもしれません。だからといって参加人数や開催頻度や内容などについて、他と競い合うものでもないでしょう。また毎年拡大を目標とするとなると、スタッフに無用な負担がかかります。姫路は姫路で、探せばたくさんいらっしゃる先輩や後輩が、参加できる時に参加できる人だけ集まっていたらいい、そんな山ほど集まらなくて、楽しいから、年代の上下隔てなく、楽しく仲良く繋がって行けれ

ばいいなと思いい、ゆるりとやろうとしてます。今回は、声を掛けるのと、姫路だけでなく神戸や西宮、そして驚くべきことに東京からも、何人も先輩後輩に参加いただきました。とても嬉しかったです。本年も二月八日(土)にほぼ同じスタイルで開催しました。次回からはマンネリにならないよう、再度趣向や雰囲気を変えてみようかなと思っております。さてどんな会になりますか。ご興味をお持ちいただければ、一度ご参加してみてください。



## 神戸白陵会によせて



神戸白陵会会長  
9期生  
山崎 俊輔



「二〇二四 神戸白陵会」は二〇一四年十二月十四日(土)、五十三名の参加を得て神戸ポートピアホテル(聚景園)にて盛大に行われました。

この神戸白陵会は、二〇一五年に阪神地区在住の柔道部OB・OGが気楽に集まろうということ、御影の居酒屋で十数名が集まったのが始まりでした。二〇一七年には、宮崎陽太郎校長や柔道部以外の方々にも参加を呼びかけ、二十数名の参加となりました。その時余りにも会が盛り上がり過ぎ、住宅街の中にある御影の店内で白陵校歌や寮歌を大きな声で歌ったものですから、周りの住民から苦情が出て、それ以降その店での実施が不可能になったというエピソードがあります。その後三ノ宮の牡丹園に会場を移しましたが、更に参加者が増え続けたためポートピアホテルで開催されるようになりました。この様に次から次へと人伝えに広がりながら継続されています。

発足当初より岡山白陵高校のOB・OGの方も参加されたらいいのにと話をしていたので、

が、今回の神戸白陵会には、岡山白陵高校卒業生四名の方に参加して頂き、共に楽しく白陵についての思い出話ができたと大変嬉しく思っています。またこの会の準備等で大変ご尽力頂いている事務局長の上田敏典さん(九期)、副会長の服部博明さん(十期)に対しては心より感謝致しております。

毎回この会で思うことは白陵OB・OGの方は、節度、品格をわきまえた人間的に素晴らしき方ばかりであるということ、またお互いに白陵ということ、固で温かい絆で強く結ばれていることを、強く実感しております。

多感な中学・高校時代にあの厳格な環境の中で養われた精神というものは、善かれ悪しかれそれを経験してきた者たちの人生の強固な礎となっております。我々同志しか話せないこと、他人には理解してもらえないことや思い出話を語らないながら、毎回時の過ぎるのを忘れ楽しく皆さんと過ごしています。

やはり話題の中心になるのは強烈な個性と大きな人間力を

持つておられ、一人一人に満遍なく深い愛情と多大な影響を与えた故三木省吾園長、故藤田家将先生の話です。卒業して数十年たっても忘れられる先生方ではありません。私自身は未だに「頑張れよ、無理するなよ」と人生の大きな道標となって温かく見守ってくれているように思っています。また中学・高校時代を振り返ってみると、深い愛情と情熱をもって自分の人生の全てを生徒指導や教育に捧げている先生方が多いのが、白陵中学・高校の特徴であったと思います。

今回の神戸白陵会の最後の挨拶で服部博明副会長が言われていた、「この会での柔道部の色をより薄め、より多くの方々が参加されるような楽しい会にしていきたい。」今後の白陵中・高等学校の益々の発展を願いながら、「白陵の同窓の絆がより一層深まり、お互いに励まし合い、協力し助け合う」このような「神戸白陵会」として存在し続けて欲しいと思います。

白陵会六十周年記念総会講演会

演題 UHA味覚糖の  
新規事業開拓について



二十五期生  
山田 泰正

UHA味覚糖はお菓子専門店山田屋として一九三六年に大阪市都島にて産声を上げています。そしてその後お菓子の卸売業である誠商会として発展しライバルの卸売業との差別化のためにプライベートブランドを作りそれをきっかけに味覚糖を創業します。そして味覚糖からUHA味覚糖へ。UHA味覚糖グループには常に時代の流れを先取りする事業を開発してきた歴史があります。時代に合わせて業態を作り出しマーケットを開拓する。新しい会社を生みながら時代の変化に合わせて進化する。今も進化を続けていくUHA味覚糖の取り組みをお話しさせていただきます。人の夢をかなえるために独創的個性的に未来に向けてチャレンジしていく。商品を通して豊かな生活を波のように広げていく取り組みをご紹介しますいただきます。

履歴書

氏名

山田 泰正

会社名

UHA味覚糖株式会社

生年月日

一九七一年九月十三日生

学歴

明治大学経営学部卒業

趣味

ゴルフ 読書

略歴

一九九五年四月

京セラ株式会社 入社

一九九八年一月

株式会社誠商会 入社

一九九九年六月

株式会社誠商会 代表取締役兼CEO 就任

二〇〇四年十一月

UHA味覚糖株式会社 代表取締役専務就任

二〇〇九年六月

UHA味覚糖株式会社 代表取締役社長 就任

白陵生の活躍(二〇二四年) ※学年は表彰当時の学年です

白陵会News

五月五六日	第五十一回 兵庫県高校将棋選手権大会	男子団体戦優勝 女子団体戦優勝	県立尼崎福園高校で行われた兵庫県高等学校文化連盟、兵庫県高等学校将棋連盟主催第五十一回兵庫県高校将棋選手権大会、男子団体戦において高校三年 上杉文彌君、高校二年 橋豊允君、金澤瑞輝君のチームが優勝、女子団体戦において高校三年 山本楓さん、高校二年 中西優里菜さん、高校一年 山口由紗さんのチームが優勝しました。また、女子個人戦において高校一年 千電結菜さんが四位に、男子個人戦B級において高校一年 大河内彰人君が三位に入賞しました。男女団体ともに、八月一日に岐阜県高山市で開催される第四十八回全国高等学校将棋選権大会(第六十回全国高等学校将棋選権大会)に出場します。また、十一月十六日、十七日に福井県福井市で開催される第四十四回近畿高等学校総合文化祭将棋部門団体戦にも出場します。
五月二十六日	文部科学大臣杯 第二十回中学校 団体将棋対抗戦 兵庫県予選	団体戦第三位	灘中学校・高等学校で行われた、日本将棋連盟・兵庫県文部連合会主催の文部科学大臣杯第二十回中学校団体将棋対抗戦兵庫県予選において、中学三年 中田康成君、中学二年 長棟想平君、石原悠誠君のチームが三位入賞しました。
六月八日	第六十八回 兵庫県高等学校 総合体育大会柔道競技	女子 七十八kg超級 第三位	高砂市総合体育館で行われた、兵庫県高等学校体育連盟主催の令和六年度兵庫県高等学校総合体育大会柔道競技、女子七十八kg超級において、高校三年 岡井美樹さんが第三位に入賞しました。
六月十日	第三十回 小諸・藤村文学賞	優秀賞一席	小諸市・小諸市教育委員会主催の第三十回小諸・藤村文学賞において、高校一年の赤松理子さんが優秀賞一席に選ばれました。八月二十一日に長野県小諸市で行われる表彰式に出席します。同賞の受賞は昨年の高校一年 吉田知優さんに続き、二年連続です。なお、吉田さんの作品は今年度も最終候補作に選ばれていました。
七月十四日	第三十七回 兵庫県高等学校 将棋竜王戦大会	女子個人戦 準優勝	甲南学園平生記念セミナーハウスで行われた、兵庫県高等学校将棋連盟、日本将棋連盟、読売新聞社主催の第三十七回兵庫県高等学校将棋竜王戦大会において、女子個人戦で高校一年の山口由紗さんが準優勝、高校二年の中西優里菜さんが四位、男子個人戦B級で高校二年の関浩翔君が四位に入賞しました。
八月一〜二日	第六十回 全国高等学校将棋 選手権大会	女子団体戦五位	飛騨・世界生活文化センターで行われた、全国高等学校文化連盟主催の第四十八回全国高等学校総合文化祭(第六十回全国高等学校将棋選手権大会)において、女子団体戦(高三 山本楓さん、高二 中西優里菜さん、高一 山口由紗さん)が五位に入賞しました。男子団体戦(高三 上杉文彌君、高二 橋豊允君、金澤瑞輝君)はベスト十六でした。
八月二十〜二十二日	化学グランプリ 2024	二次選考 銀賞・銅賞	秋田大学手形キャンパスで行われた、日本化学会化学グランプリ・オリンピック委員会主催の化学グランプリ2024二次選考において、高校三年 山野朔弥君が銀賞に、田中碧斗君が銅賞に入賞しました。この大会は、一次選考(今年度は二六九四名参加)を経た七十一名が二泊三日に渡って実験と問題に挑戦するものです。
八月二十〜二十三日	第二十回 全国物理コンテスト 物理チャレンジ 2024	第二チャレンジ 優良賞	兵庫県依用郡Spring2024で行われた、日本物理オリンピック委員会主催の第二十回全国物理コンテスト「物理チャレンジ2024」第二チャレンジにおいて、高校三年 水野嵩仁君と五月女雅希君が優良賞に入賞しました。この大会は、第一チャレンジ(今年度は一〇六一名が参加)の結果上位の約百名が、三泊四日の合宿形式コンテストで実験と問題に挑戦するものです。
十一月九日	第四十八回 兵庫県高等学校 総合文化祭	文芸部門 コンクール入賞	デザインクリエイティブセンター神戸(KIITO)にて開催された、第四十八回兵庫県高等学校総合文化祭「文芸部門コンクール」において、本校生が四部門・七作品で入賞しました。散文部門では、高校一年 千電結菜さん、齊藤葵さんが優良賞、高校二年 桑田愛さんが入選、詩部門では、高校一年 田中健三君が優秀賞、町田沈一君が優良賞、俳句部門では、高校一年 薬内優さんが入選、文芸部誌部門では、「紅炎令和六年号」が最優秀賞に選ばれました。
十一月十六〜十七日	第四十四回 近畿高等学校 総合文化祭福井大会 将棋部門	女子団体優勝 男子団体準優勝	福井県福井市で開催された、福井県教育委員会主催の第四十四回近畿高等学校総合文化祭福井大会将棋部門において、高校二年 中西優里菜さん、高校一年 山口由紗さん、千電結菜さんが女子団体戦で優勝しました。また、高校三年 上杉文彌君、高校二年 橋豊允君、金澤瑞輝君が男子団体戦で準優勝しました。
十一月三十日	第四十三回 兵庫県中学校 新人柔道大会	第三位	高砂市総合体育館で開催されました、兵庫県中学校体育連盟主催の第四十三回兵庫県中学校新人柔道大会において、中学二年 森田奏さんが女子個人四十四kg級において第三位に入賞しました。
十一月二十三〜二十四日	第四十四回 近畿高等学校 総合文化祭福井大会 小倉百人一首かるた部門	県代表チーム 第四位	福井県福井市で開催された、福井県教育委員会主催の第四十四回近畿高等学校総合文化祭福井大会小倉百人一首かるた部門において、高校二年 橋岡華子さんの県代表チームが第四位に入賞しました。
十二月二十一日	第三十九回 全国高等学校文芸 コンクール	文芸評論部門 最優秀賞	全国高等学校文化連盟、読売新聞社主催の第三十九回全国高等学校文芸コンクールにおいて、高校一年 赤松理子さんが文芸評論部門の最優秀賞および読売新聞社賞を、高校三年 森和香子さんが小説部門、高校二年 桑田愛さんが詩部門、本校部誌「紅炎令和六年号」が文芸部誌部門でそれぞれ優良賞を受賞し、国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた表彰式に出席しました。

白陵会物故者

- 三木一正(名誉理事長) 令和六年六月 逝去
  - 三宅紀正氏(一期生) 令和七年一月 逝去
  - 矢木 学氏(二期生) 令和五年五月 逝去
  - 原田正和(留學高豊) 令和六年七月 逝去
  - 田中 洋氏(十期生) 令和六年五月 逝去
  - 長澤 均氏(十一期生) 令和六年二月 逝去
  - 作道信介氏(十二期生) 令和五年十一月 逝去
  - 大西誠二氏(十五期生) 令和六年三月 逝去
  - 友井隆司氏(十八期生) 平成二十九年十一月 逝去
- 心よりご冥福をお祈りいたします。

転退職教職員紹介 令和六年三月

- 船本 秀忠先生(社会) 令和四年九月〜令和五年七月
- 小山 征夫(校務) 平成二十四年五月〜令和六年三月
- 西田 崇浩先生(英語) 平成二十九年四月〜令和六年三月
- 松本 高郎先生(理科) 昭和五十八年四月〜令和六年三月
- 黒田 洋先生(音楽) 昭和四十七年四月〜令和六年三月
- 黄田 祥明先生(社会) 令和五年九月〜令和六年三月
- 増井真理子先生(家庭科) 令和二年四月〜令和六年三月
- 吉元 薫先生(書道) 令和三年四月〜令和六年三月
- 斎藤 興哉先生(国語) 平成十四年四月〜令和六年五月  
平成二十一年一月〜平成二十九年三月 校長  
平成二十一年四月〜令和六年五月 理事長

## 白陵会役員名簿

役名	期	氏名	役名	期	氏名	役名	期	氏名	役名	期	氏名
会長	3	天野 泰文	常任幹事(研レ)	10	加藤 雅宣	常任幹事(総務)	38	堀 素史	常任幹事(総務)	56	武田 千輝
副会長	2	湖中 明憲	// (総務)	12	西庵 利彦	// (HP)	38	住吉 寛紀	// (総務)	56	田中 詩歩
//	10	服部 博明	// (研レ副委員長)	13	矢野 善人	// (総務)	39	堂國久美子	// (総務)	57	荒井 奏音
//	15	町田 直隆	// (総務)	14	片山 安孝	// (総務)	39	根木 厚	// (総務)	57	吉尾 侑悟
理事(研レ)	3	神吉 裕資	// (総務)	14	竹中 邦夫	// (総務)	40	赤澤 剛	// (総務)	58	岩倉 万莉
// (会計・総務)	4	岸本 和男	// (総務)	16	田中 正一	// (総務)	40	廣江 祥子	// (総務)	58	田中 周
// (HP委員長)	6	長野総一郎	// (総務)	18	秋田 直樹	// (総務)	41	竹内 雅浩	// (総務)	59	黒田 大地
// (総務)	8	黒川 仁	// (総務)	19	牛尾 英樹	// (総務)	42	賀川 拓哉	// (総務)	59	吉澤 七海
// (研レ)	9	村角 伸一	// (総務)	21	河合 恵介	// (HP)	42	宮崎はる香	校内幹事(総務)	11	小紫 一貴
// (研レ委員長)	10	吉田 達哉	// (研レ)	22	野津 康弘	// (HP)	43	八杉 佳奈	// (総務)	12	畔上 昇
// (広報副委員長)	11	志方 正彦	// (広報)	23	三木 健史	// (総務)	44	立田 裕昌	// (総務)	12	長野 恭也
// (総務)	11	来栖 昌朗	// (研レ)	23	中里 寛	// (総務)	44	恒光 綾子	// (総務)	12	中村 大吾
// (広報委員長)	13	水田 堅	// (総務)	24	奥本 光廣	// (総務)	44	上月 理加	// (総務)	12	山口 透
// (総務)	13	飯島 義雄	// (総務)	24	藤原 省悟	// (HP)	45	三浦 学登	// (総務)	14	久保 博彦
// (総務)	15	福永 安洋	// (総務)	25	多根 正明	// (総務)	45	坪谷 沙紀	// (総務)	15	村上 幸生
// (総務委員長)	17	岡野 清和	// (HP)	26	大西 康記	// (HP)	46	戸田 美希	// (広報)	15	西 善弘
// (総務)	18	野添 正彦	// (総務)	27	山田 将義	// (総務)	46	宮脇 規壽	// (総務)	30	二階堂聖子
// (会計・HP)	19	尾上 尚樹	// (広報)	28	柿本 晴彦	// (総務)	47	戎 直哉	// (HP)	37	神尾 祐輔
// (総務)	20	石井 秀武	// (HP)	29	岡田 康裕	// (総務)	47	中谷 英巴	// (総務)	39	石岡 知久
// (総務委員長)	23	譜久山 剛	// (研レ)	29	浜田賢太郎	// (総務)	48	井上 千華	// (HP)	39	清水美沙子
// (総務)	24	田中 一成	// (HP)	30	上新 貴弘	// (総務)	48	建石 真一	// (総務)	41	垣内 康孝
// (研レ)	26	萩原 唯典	// (研レ)	31	後藤 大悟	// (総務)	49	安井 浩起	// (広報)	43	野瀬 彩弥
// (研レ)	29	山下 展成	// (総務)	31	酒井 雅史	// (総務)	49	立石裕之輔	// (総務)	44	山田 祥五
// (研レ)	35	中村 亮太	// (総務)	31	木下 智晴	// (広報)	49	橋本 瑞季	// (総務)	45	井上 僚介
書記	36	杉岡 央基	// (HP)	31	村山 稔	// (総務)	50	池上 学歩	// (広報)	46	神田 澄恵
会計監査(総務)	28	上山 奉伯	// (総務)	32		// (総務)	50	津田 彩花	// (総務)	49	福永 航平
// (研レ)	35	安田 孝弘	// (総務)	32	小澤有紀子	// (総務)	51	佐々木優一	// (総務)	50	中村 聖
常任幹事(総務)	1	芝本真須美	// (総務)	33	藤井 拓郎	// (HP)	51	笹久保茉奈	顧問(理事長)	10	下村 康夫
// (広報)	1	正井 和野	// (総務)	33	北尾由美子	// (総務)	52	稲垣 大翔	// (校長)	11	宮崎陽太郎
// (研レ)	4	森崎 晴知	// (広報)	34	上垣 孝俊	// (総務)	52	富木 琴乃	// (教頭)		高見 繁統
// (総務)	5	塩崎 育男	// (総務)	34	牧野 琢丸	// (総務)	53	岡田 弦大	顧問	2	川副 義文
// (研レ)	5	橋本 義仁	// (総務)	35	阪本 覚	// (総務)	53	後藤 真由	//	1	遠山 寛
// (研レ)	6	福井 孝昌	// (研レ)	36	近藤 理恵	// (総務)	54	佐々木仁哉	//	1	黒川 芳一
// (総務)	7	萩本 義郎	// (総務)	37	岸上真紀子	// (総務)	54	篠田 侑果	//	3	沼田 好道
// (広報)	8	前川 裕司	// (HP)	37	亀山 信生	// (総務)	55	東村 颯起	//	6	上田 喜裕
// (総務)	9	手井 幸男	// (総務)	38	上野 紘之	// (総務)	55	三木万梨子			

(令和7年3月1日現在)

## 大学入学試験合格者数

### ■国公立大学

※「国公立大学合格者計」は準大学を含む

大学名	R6年	R5年	R4年	R3年	R2年	31年
東京大学	16	16	20	15	15	15
京都大学	14	16	16	24	25	23
大阪大学	13	14	10	13	17	13
神戸大学	19	17	9	17	17	20
東京工業大学	1	1		2	2	2
一橋大学	1	1		1	3	1
東北大学	2	1	1	2	1	3
名古屋大学		1	3	2	1	1
九州大学	6	3		10	3	2
北海道大学	5	4	3	3	3	4
筑波大学	3	2	2		2	1
岡山大学	1	4	5	17	10	8
広島大学	5	2	7	5	6	5
大阪公立大学	5	9	8	9	2	7
上旧市立、下旧府立				5	5	5
その他	56	70	55	59	66	62
合格者計 (内医学部)	147 (32)	161 (39)	139 (28)	184 (48)	178 (39)	172 (62)

### ■私立大学

大学名	R6年	R5年	R4年	R3年	R2年	31年
早稲田大学	27	24	20	22	19	25
慶應義塾大学	22	23	14	26	20	21
上智大学	2	4	3	7		1
中央大学	6	8	5	2	2	9
東京理科大学	4	16	11	8	14	8
明治大学	7	7	4	6	1	11
関西学院大学	40	30	19	29	23	12
関西大学	20	19	19	17	6	4
同志社大学	41	35	12	57	31	44
立命館大学	31	32	26	35	28	15
京都薬科大学	6	8	1	6	6	5
大阪医科薬科大学(医)	3	6	5	2	9	11
神戸薬科大学	4	2	3	4	4	7
兵庫医科大学	7	9	8	19	9	9
その他	64	67	76	59	65	72
合格者計 (内医学部)	284 (36)	290 (34)	226 (28)	299 (46)	237 (41)	254 (45)
卒業生数	186	180	189	189	186	188

## 令和5年度 収支決算報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

単位/円

収入の部	予算額	決算額	決算-予算
前年度繰越金	17,600,775	17,600,775	0
会費収入	4,830,000	5,040,000	210,000
年会費(5年分)(59期生)	2,790,000	2,790,000	0
年会費(1～53期生)	1,800,000	1,956,000	156,000
定例総会会費	240,000	294,000	54,000
会費外収入	20,300	60,248	39,948
名簿収入	10,000	0	△ 10,000
広告収入	0	0	0
利息収入	300	248	△ 52
雑収入	0	60,000	60,000
寄付金	10,000	0	△ 10,000
記念総会積立金繰入収入	0	0	0
合計	22,451,075	22,701,023	249,948

支出の部	予算額	決算額	予算-決算
事務費支出	305,000	228,966	76,034
会費管理手数料	130,000	136,136	△ 6,136
消耗品費	50,000	0	50,000
印刷費	50,000	55,440	△ 5,440
通信費	50,000	26,280	23,720
支払手数料	20,000	11,110	8,890
雑費	5,000	0	5,000
会議費支出	500,000	275,400	224,600
理事会費	200,000	191,200	8,800
役員会費	200,000	84,200	115,800
委員会費	100,000	0	100,000
事業費支出	2,800,000	2,534,598	265,402
定例総会費	1,000,000	1,021,958	△ 21,958
名簿発行費	0	0	0
会報発行費	1,300,000	1,113,997	186,003
ホームページ維持費	100,000	77,000	23,000
卒業記念品費	250,000	221,584	28,416
慶弔費	150,000	100,059	49,941
備品費支出	0	0	0
OB会活動助成金	300,000	240,000	60,000
渉外費支出	150,000	60,000	90,000
在校生部活動奨励費支出	200,000	200,000	0
予備費支出	200,000	150,000	50,000
寄付金	0	0	0
小計	4,455,000	3,688,964	766,036
記念総会積立金	200,000	200,000	0
学校寄付積立金	500,000	500,000	0
次年度繰越金	17,296,075	18,312,059	△ 1,015,984
合計	22,451,075	22,701,023	△ 249,948

## 令和5年度 会務報告

実施日	内容	場所
令和5年5月20日	理事 会	福 亭
令和5年6月11日	白陵 会 定 例 総 会	ホテルモントレ姫路
令和5年11月3日	り よ う ゆ う 会	龍野クラシックゴルフ倶楽部
令和5年11月25日	理 事 ・ 役 員 会	ホテル日航姫路
令和6年1月26日	理 事 会	中華菜館 紅寶石
令和6年2月11日	第59回白陵高等学校卒業式 (天野会長出席 卒業記念品贈呈)	白陵高等学校
令和6年3月	会 報 第 4 3 号 発 行	

## 編集後記

一九八五年十一月十日に体育館で行われた第一回総会、大助・花子師匠そして太平サブロー・シロー師匠がステーションの上から卒業生の笑いをとって、もう四〇年。あの頃は、卒業生といってもみな四〇歳未満でした。今ははるかに幅広い世代が集まっています。母校も同窓会も歴史を積み重ねていきます。その記憶を継承していく、語り継いでいく場所が同窓会です。どうか同窓会総会へお集まりください。HPや会報にも同窓生の情報をお寄せください。「白陵」という世界をさらに広げていくために。  
(T・M)